

ずっと、ずっと。



ずっと、ずっと。





大きくてどっしりとした  
木がありました。

その木は とてもやさしくて  
そばにいとるとなにか

しあわせなきもちになれるので

たくさんのおだちが

いつもあそびにきました。



大きくてどっしりとした木の下に  
かわいらしい花がさきました。

おおきな木は その花を

たいせつにしようとおもいました。



雨がつよい日は かさになり

日ざしがつよい日は  
かげをつくり

どんなときも おおきな木は  
その花をまもっていました。

そして、花も おおきな木のことを  
だいすきになりました。

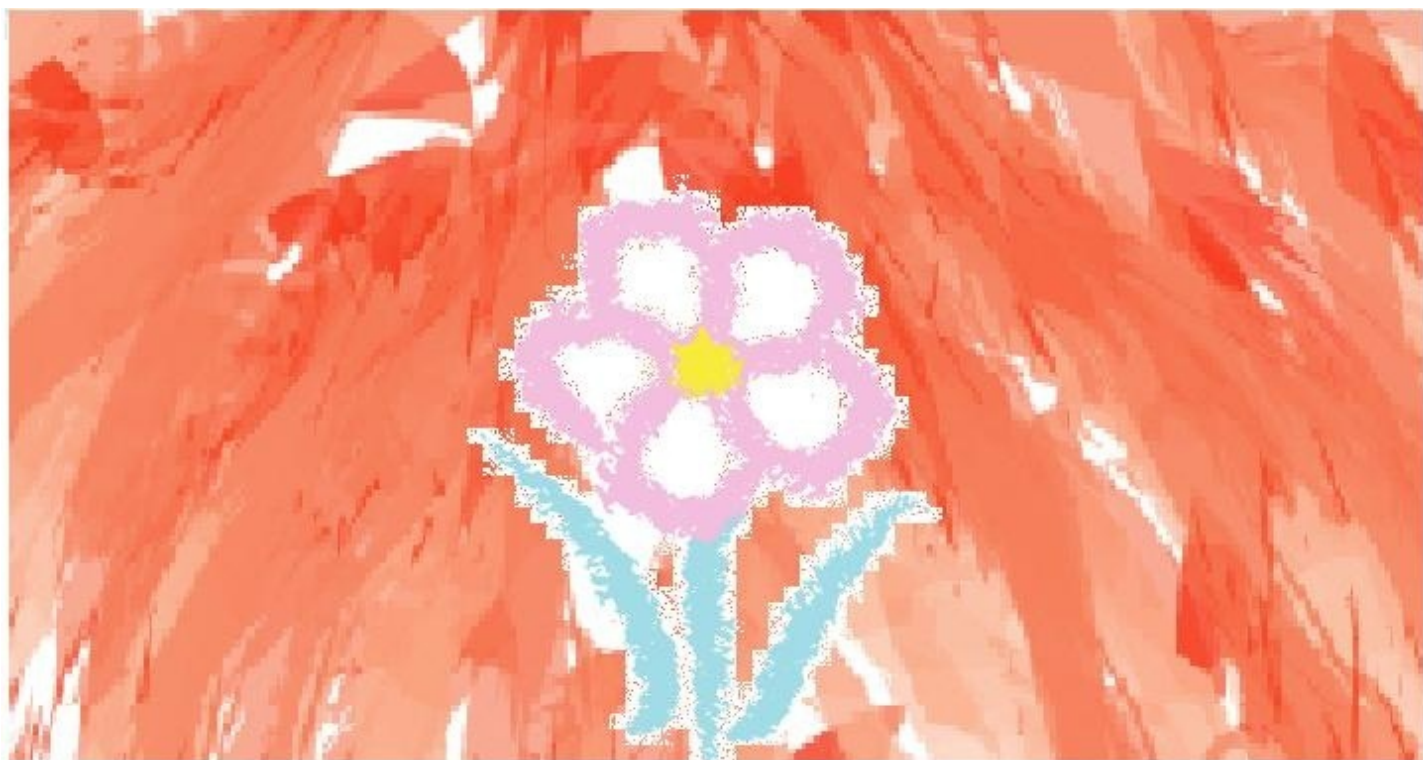


あきになり、花とおおきな木は  
おたがいを もっとすきになって  
土の中で ねっこがふれあい、

おおきな木は うれしくて

はずかしくて

まっ赤になりました

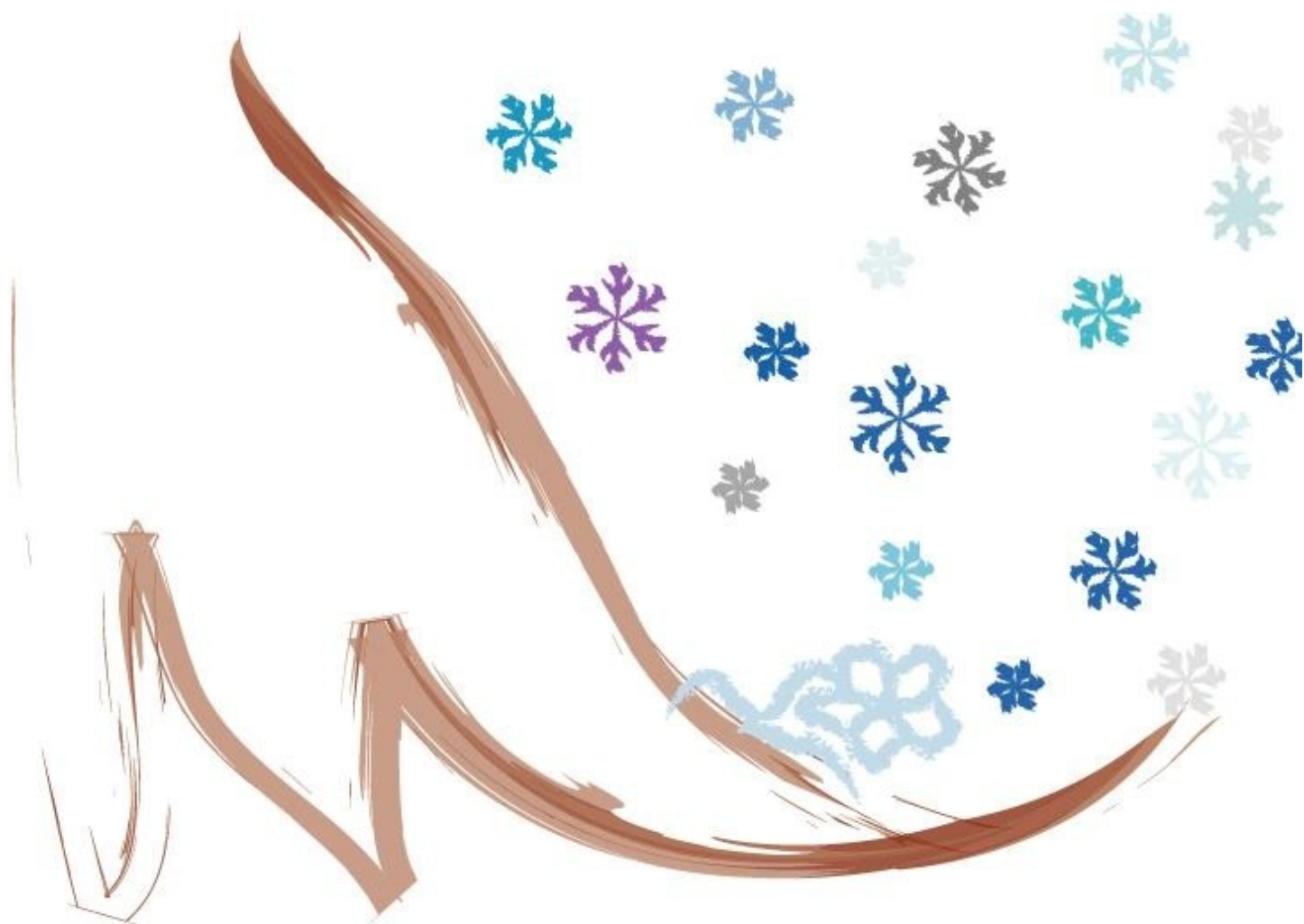


おおきな木は おもい出しました。

もうすぐ、ふゆがくる。

あったかいふとんをよういしよう。

おおきな木は たくさんのはっぱを  
やさしく 花にかけてあげました

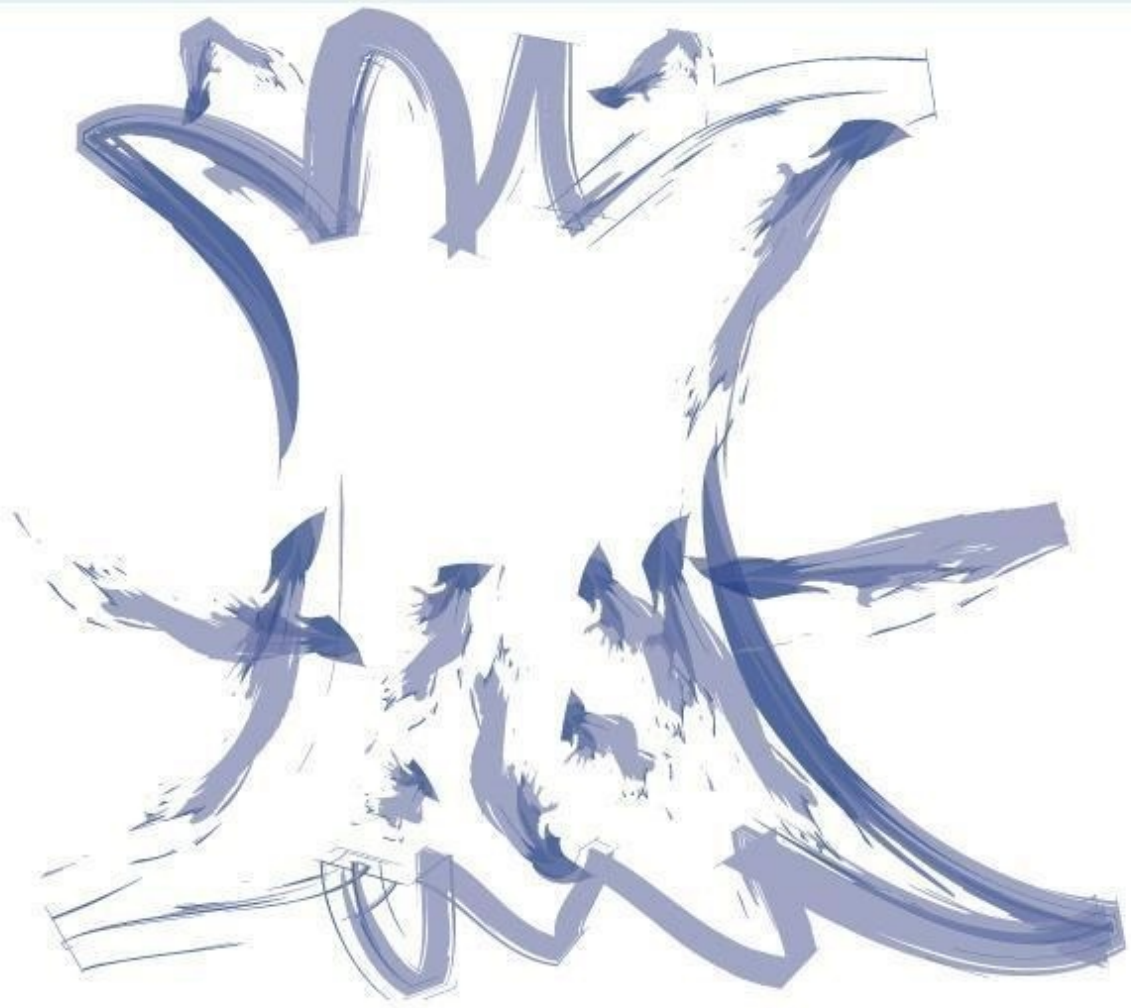


ふゆがきて

ゆきがふり

花は かれました





おおきな木は  
ためいきを つきつづけ



そのためいきは おおきな木に

まるで はっぱの かわりに

おおいかぶさりしました。



おおきな木にかぶさる

どんよりとした ためいきを

とおりすがりのくもが みつけて

なかまだとおもい

こえをかけました

「いつまでそこに いるんだい？」



いつまでも、ここにいる！



おおきな木は気づきました。

あの花のことを  
わすれられない ぼくの中には

いつまでも

あの花は さいているんだ！

あったかい はるの日ざしが

おおきな木を てらしはじめ…



みつけた。



だいすきだった、  
あの花のこどもたち。

ずっと、ずっと。

<http://p.booklog.jp/book/36521>

話：みつ

絵：しお

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/hinaboco/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/36521>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/36521>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.